

令和5年度 志木市立志木第二小学校 学校経営方針

令和5年4月3日

校長 松本秀之

1 本校の学校教育目標

「進んで学ぶ子」 「心の豊かな子」 「体をきたえる子」

2 基本理念

生き生きと児童の瞳輝き 笑顔あふれる志木二小

3 目指す学校像

- ・気持ち良いあいさつ溢れる学校
- ・地域とともにある学校

4 目指す子ども像

「自ら学び続ける 心豊かな子」

- ・よく考え、主体的に学習に取り組む子
- ・他人を思いやり、協調性のある子
- ・心身ともに健康でたくましい子

5 目指す教師像

「学び実践し続ける教職員」

- ・子供の姿を大事にしながら、指導力を磨き続ける教職員
- ・互いに切磋琢磨し、同僚性を重んじる教職員
- ・児童、保護者、地域の方から信頼される教職員

3～5の「○○○像」については、志木二中学校区小中一貫教育推進プランに準じて、三校で統一のものにしています。

6 経営の基本方針

児童一人一人が生き生きと活動し、知・徳・体をバランスよく身に付け、確実に伸ばすことのできる、活力に満ちた質の高い学校づくりを目指す。

(1) 変える勇気と変わる覚悟

これまでの成果を継承するとともに従前主義や前年踏襲を退歩と捉え、小さなことでも課題解決と改善を図るための検討、工夫に熱意と創意をもって組織的・継続的にP D C Aマネジメントサイクルに取り組む。

(2) 豊かな学びで未来を拓く

新学習指導要領の確実な実施とともに、カリキュラム・マネジメントによる教育活動の質の向上、主体的対話的で深い学びによる授業改善などを通し、確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成に取り組む。

(3) 学ぶにふさわしい学習環境

児童が、安心して学べる学校づくりに向け、教育環境の点検及び整備に取り組み、インクルーシブ教育の推進や、いじめ・不登校の早期対応・早期解消を目指し、決して誰一人取り残さない教育の推進に努める。

(4) 学校・家庭・地域の連携

地域とともにある学校づくりを推進するため、H P・学級通信等を通し、積極的に情報を発信するとともに、コミュニティ・スクールを推進し、保護者・地域・関係機関との連携を一層深める。

(5) チーム志木二小

児童・保護者・地域から信頼される学校職員であるため、教職員事故防止・マナーアップ・教育公務員としての資質の向上に取り組むとともに、職員の健康と安全に配慮した学校運営を推進する。

7 令和5年度の重点

(1) 非認知能力の育成に向けて

- ①特別活動の充実・・・「他者とつながる力」の育成
- ②総合的な学習の時間の充実・・・「自分を高める力」の育成
- ③道徳教育の充実・・・「自分と向き合う力」の育成
- ④読書活動の充実・・・「想像力・先を見通す力」の育成

(2) 義務教育学校開校に向けて

- ①学年段階第Ⅱ期（5・6・7年生）を想定した交流【児童生徒交流・教員交流】
- ②学年段階第Ⅰ期（1～4年生）を想定した交流【志木第四小との同学年交流】